

「海をきれいに、安全に、秩序正しく」

海上保安友の会札幌支部



会 報 (第 3 7 号)

令和2年10月6日発行



表紙写真 (小樽港島堤灯台)

海上保安友の会札幌支部事務局
〒047-0007
小樽市港町5番2号 小樽地方合同庁舎
小樽海上保安部 管理課 内
電話 0134-27-6118 FAX0134-23-9700

会員数 161名 (正会員 86名、家族会員79名) (R2.9現在)

令和 2 年度海上保安友の会札幌支部役員会の開催について

6月27日小樽海上保安部会議室において令和2年度海上保安友の会札幌支部役員会が開催されました。当日は、役員会は顧問である藤本小樽海上保安部長にもご出席いただき、徳梅会長の挨拶のあと、平成31年度事業報告、決算報告、令和2年度事業計画、予算案について、事務局から報告がなされ、出席役員満場一致で承認されました。



徳梅会長による挨拶

役員会終了後の集合写真

○ 平成31年度事業活動報告

行事名	開催地	実施日	主催	活動内容
測量船天洋小樽入港に伴う特別公開	小樽港 第二ふ頭	8月21日	小樽海上保安部	友の会札幌支部会員限定の特別公開
第41回クリーンアップ石狩新港浜	石狩新港浜	9月8日	浜辺と海をきれいにする会	海浜清掃活動
練習船こじま一般公開	小樽港 第二ふ頭	9月11日 ～ 9月13日	第一管区 海上保安本部 小樽海上保安部	一般公開見学
石狩灯台特別公開	石狩市 石狩灯台	9月22日	石狩市 小樽海上保安部	石狩サケ祭に併せ、石狩灯台の特別公開、グッズの販売等
千歳航空基地業務説明会	千歳航空基地	10月20日	千歳航空基地 小樽海上保安部	友の会札幌支部会員限定の航空基地業務説明会
幌灯台特別公開	石狩市幌灯台	10月25日	小樽海上保安部	職員による点検に併せ特別公開
日和山灯台特別公開	小樽市祝津 日和山灯台	12月14日	小樽海上保安部	改修工事完了記念の灯台敷地内公開、灯台内部での写真展示
小樽雪あかりの路	小樽市	2月8日 ～2月16日	小樽海上保安部 海上保安友の会 札幌支部 巡視船えさん	雪像展示（手宮線B会場） 巡視船えさん電飾

巡視船そらち特別公開	小樽港 第二ふ頭	2月15日	小樽海上保安部 巡視船そらち	友の会札幌支部会員限定の 特別公開
会報の発行（年2回）		12月20日 3月31日	友の会札幌支部	会報を発行し、正会員に配付
卓上カレンダー配布		12月20日	友の会札幌支部	正会員に配付

○ 平成31年度 収支決算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

海上保安友の会札幌支部

収入の部				支出の部			
科 目		予算額	決算額	科 目		予算額	決算額
大科目	中科目			大科目	中科目		
会費収入		円 403,500	円 393,000	事業費		円 430,550	円 287,049
	会費収入	388,000	384,000		本部納入金	176,250	190,587
	特別会費収入	4,500	0		活動費	173,400	58,977
	入会金収入	11,000	9,000		広報資料費	0	0
寄付金収入		1,000	0		通信運搬費	79,900	37,485
	寄付金収入	1,000	0		雑費	1,000	0
雑収入		1	2	管理費		50,000	26,514
	受取利息	1	2		旅費交通費	20,000	3,720
	雑収入	0	0		労務費	0	0
					事務費	20,000	12,794
					雑費	10,000	10,000
前期繰越 収支差額		229,691	229,691	次期繰越 収支差額			309,130
	前期繰越 収支差額	229,691	229,691		次期繰越 収支差額		309,130
合計		634,192	622,693	合計		480,550	622,693

○ 令和2年度 収支予算書

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

海上保安友の会札幌支部

収入の部				支出の部			
科 目		予算額	決算額	科 目		予算額	決算額
大科目	中科目			大科目	中科目		
会費収入		円 348,500	円	事業費		円 345,870	円
	会費収入	344,000			本部納入金	174,250	
	特別会費収入	0			活動費	90,720	
	入会金収入	4,500			広報資料費	0	
寄付金収入		0			通信運搬費	79,900	
	寄付金収入	0			雑費	1,000	
雑収入		2		管理費		39,590	
	受取利息	2			旅費交通費	9,590	
	雑収入	0			労務費	0	
前期繰越 収支差額		309,130		次期繰越 収支差額		272,172	
	前期繰越 収支差額	309,130			次期繰越 収支差額	272,172	
合計		657,632		合計		657,632	

【内訳】

収入の部

科 目	金 額	内 訳
会 費 収 入	348,500	
会 費 収 入	344,000	4,000 円×86 名
特別会費収入	0	6,160 円×0 名
入 会 金 収 入	4,500	正会員 1,000 円×2 名、家族会員 500 円×5 名
寄 付 金 収 入	0	
寄 付 金 収 入	0	

雑収入	2	
受取利息	2	
誤入金	0	
前期繰越金	309,130	
合計	657,632	

支出の部

科目	金額	内訳
事業費	345,870	
本部納入金	174,250	
会費収入	172,000	(4,000円×1/2) ×86名
特別会費収入	0	6,160円×0名
入会金収入	2,250	正会員(1,000円×1/2) ×2名、家族会員(500円×1/2) ×5名
払込手数料	0	
活動費	90,720	
役員会	720	お茶代(72円×10名×1回) ※確定
体験航海	20,000	お茶代(100円×200名×1回)
清掃活動	0	R2年度 石狩浜清掃中止
卓上カレンダー	20,000	200円×100部
交流会	0	R2年度潮まつり中止
会報発行	50,000	会報印刷(25,000円×2回)
広報資料費	0	
通信運搬費	79,900	
郵便切手	28,200	94円×100部×3回
はがき	25,200	63円×100枚×4回
会報送料	26,500	122円×100部×1回、143円×100部×1回(カレンダー混送)
雑費	1,000	弔電ほか
管理費	39,590	
旅費交通費	9,590	役員交通費(1回) ※確定
事務費	20,000	振込手数料、ラベル用紙、インカートリッジ等
雑費	10,000	
次期繰越金	272,172	
合計	657,632	

○ 令和2年度 事業計画

行事名	開催地	実施日	主催	活動内容
日和山灯台敷地解放	小樽市祝津 日和山灯台	7月1日	小樽海上保安部	日和山灯台敷地の常時開放
水路記念日にあわせ 「黎明期の海図」パネル 展	小樽市手宮 小樽市総合 博物館	9月9日	第一管区 海上保安本部 海洋情報部	江戸時代の航海用図誌、明治初期の 海図、小樽港の変遷について紹介
水路記念日にあわせ 「黎明期の海図」パネル 展	余市町黒川町 余市宇宙 記念館	9月11日	第一管区 海上保安本部 海洋情報部	江戸時代の航海用図誌、明治初期の 海図、余市港の変遷について紹介
日和山灯台一般公開	小樽市祝津 日和山灯台	11月1日	小樽海上保安部	灯台記念日にあわせ施設公開
巡視船体験航海	小樽港 前面海域	未定	小樽海上保安部	未定
小樽雪あかりの路	小樽市	令和3年 2月	小樽海上保安部 海上保安友の会 札幌支部	雪像展示
会報の発行（年2 回）		12月20日 3月31日	海上保安友の会 札幌支部	会報を発行し、正会員に配布
海上保安庁 卓上カレンダー配布		12月20日	海上保安友の会 札幌支部	正会員に配布

～日和山灯台 初の敷地構内常時開放～

小樽市祝津高島岬に所在する「日和山灯台」は、令和元年度、33年ぶりに大規模なリフレッシュ工事を終えました。

日和山は古くから本州と北海道小樽を結ぶ北前船の目標物であったことから、平成30年に市内構成文化財のひとつとして日本遺産に追加認定されており、訪れる方々に見晴らし台から見る石狩湾の絶景を見ていただくために、今年度から灯台の敷地構内を初めて常時開放しました。期間は11月30日までです。来年度からは4月1日から11月30日を予定しています。

【日和山灯台】



【日和山灯台 敷地開放の様子】

～今年も石狩湾港MPSを設置～

小樽海上保安部では、令和2年7月23日から8月23日までの間、石狩湾救難即応体制の強化を目的とした石狩湾港マリンパトロールステーション（M P S）を開設しました。

石狩湾港M P Sは、マリンレジャーが最も活発となる夏季の約1ヶ月間、水難事故等が発生した場合の迅速な救助作業や海難防止啓発活動の効率的な実施を目的として設置しているもので、平成21年度に初めて開設してから今年度で12回目の開設を迎えます。

開設に先立ち、7月20日にMPS開所式に併せ、巡視船ほろべつ潜水土による溺水者の救助訓練、函館航空基地回転翼機による溺水者吊り上げ救助訓練、巡視船えさんゴムボートによる漂流プレジャーボートえい航救助訓練を実施しました。

開設期間中、MPS隊員は、水上バイクによるパトロール、海浜での海難防止活動に勤めました。

【MPSの活動状況】



～令和2年度小樽市総合防災訓練で小樽海保の実力発揮！～

『防災の日』である9月1日を前に、令和2年8月28日（金）小樽市築港の勝内埠頭において、小樽市防災協議会（会長・迫俊哉市長）主催で、『令和2年度小樽市総合防災訓練』が実施されました。

小樽海上保安部では、「避難指示広報訓練」、「海中転落者救助訓練」、「港湾排出油防除訓練」、「船舶火災消火訓練」及び函館航空基地所属回転翼機による「情報伝達訓練」、「吊上げ救助訓練」を実施しました。

※ なお、写真については、海上保安友の会札幌支部 高橋 司 理事にご提供いただきました！

【避難指示広報訓練の様子】



【船舶火災消火訓練の様子】



【漂流者救助訓練の様子】



【吊上げ救助訓練の様子】

～島牧小学校 ふるさと教室「茂津多岬灯台を調べよう」～

小樽海上保安部は、島牧村教育委員会の依頼を受け、令和2年6月17日の水曜日に島牧小学校5年生3名に対し、海上安全思想の普及活動として、海上保安業務、航路標識の役割及び茂津多岬灯台の設備について説明を行いました。

茂津多岬灯台は、1937年（昭和12年）4月に海面から灯光までが日本で最も高い灯台として建設され、建設当初は職員と家族が常駐し、灯台とともに生活していましたが、1963年（昭和38年）に機器の自動化とともに無人化されました。

1951年（昭和26年）に兵庫県の余部埼灯台が建設されたため、茂津多岬灯台は2番目の灯台になりましたが、地元の島牧村や瀬棚町の強い要望により2001年（平成13年）の改修工事で海面から灯台頂部までの高さ（約290m）で約半世紀ぶりに日本一に返り咲きました。

教室の開催にあたり、事前に村役場に構内の草刈りを行っていただき、当日の晴天を祈念したものの、あいにくの曇り空となりました。小雨が降り、藪蚊が飛び交う中、児童は真剣なまなざしで若手保安官の説明に聞き入るとともに積極的に質問もしながら、灯台の回転灯器の分銅巻き上げ体験を行うなど活発な教室となりました。

また、フィナーレでは函館航空基地所属のヘリコプターが近くをフライトし間近に見るヘリコプターに子供たちは大歓声をあげ、海上保安庁の魅力を伝えることもできました。



～令和2年度 夏の実難防止活動～

小樽海上保安部では、夏の実難レジャーシーズン中の実難防止活動として、次の取り組みを行いました。

① 小中学生、高校生を対象にした海の実難啓発アニメの視聴及び訪問授業（7月）



② J R北海道と連携し、駅構内及び車内での注意喚起放送（7月～8月）



③ 海の実難事故ゼロキャンペーン周知活動（7月中旬）



【海事関係機関及びマリン事業者へ訪問】

④ コミュニティFM三角山放送局にラジオ(電話)出演 (7月13日)



【三角山放送局スタジオ】

⑤ 石狩浜海水浴場開設中止に伴う遊泳事故防止活動 (7月23日)



【来場者に対し注意喚起】

【NHK HTB 取材対応】

⑥ NPO法人いしかり海辺ファンクラブへの安全講習会 (8月2日)



【児童と保護者に海水浴や釣り中の注意事項、離岸流について説明】

⑦ ライフセービング協会との合同海浜パトロール (8月8日、16日)



【海水浴場以外の海浜で離岸流など遊泳時の危険性について説明】

⑧ 水上オートバイに関する海難防止啓発活動（8月20日、21日、23日）



【水上オートバイ販売店への訪問】

【水上オートバイ競技会のフォーラムに参加】

⑨ 小型船舶操縦免許更新・失効講習時における安全講話（9月4日）



【JEIS 北海道教習センターで気象海象や発航前点検の重要性を説明】

⑩ 釣り人への安全推進活動（9月9日、10日）



【釣具店に訪問し救命胴衣の重要性を説明】

大切な命を守るために

海上保安友の会札幌支部理事

澤田 奈緒美

私は、札幌市で小学校の教員をしています。先日、小樽海上保安部から、海難防止啓発アニメの DVD をいただきました。これは、第六管区海上保安本部で制作されたもので、小樽市・石狩市・札幌市の小中学校に配付が行われました。かわいらしい絵柄で子どもたちにもなじみやすく、海で安全に遊ぶためのルールがよく分かる内容でした。管理職にも紹介したところ大変好評で、クラス単位ではなく、より多くの子どもたちに教えた方が良い内容だという話になりました。給食時間、お昼の放送を利用して、全校視聴することが決定しました。



左：札幌市立手稲中央小学校児童が海難防止啓発アニメの DVD を視聴する様子

右：海難防止啓発アニメの DVD の画像

アニメでは、「海で溺れる」「熱中症で倒れる」など、海に潜んでいるたくさんの危険についての説明がありました。「毎年、90人ほどの小中学生が海で事故に遭い、そのうち10人以上のお友だちが亡くなっています。」というナレーションを聞くと、子どもたちからは驚きの声が上がります。「おぼれないための4つの注意点」や、離岸流についての詳しい説明も、うなずきながら真剣な表情で聞いていました。私が、「海で遊ぶ時は、ライフジャケットを付けるより安全ですよ。」と話すと、「自分用のライフジャケットを持っています！」と教えてくれた子が数人いました。「海のもしものは？」と聞くと、子どもたちは元気に、「118番！」と答えてくれました。

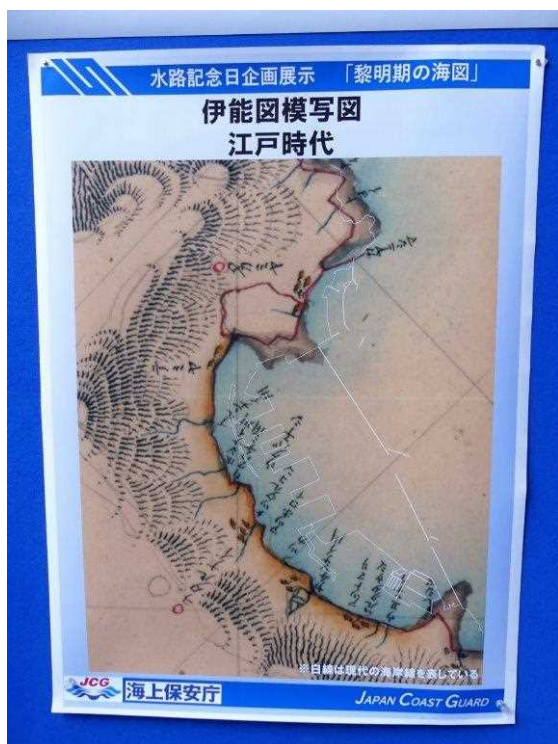
視聴が終わった後、子どもたちに感想を聞きました。「離岸流に入ってしまったも、逃げる方法があるのを知ってびっくりしました。」「『海は怖いから行かない』ではなく、ルールを守って遊べば安心だと分かりました。」「家族や友達を失いたくないので、海で気を付けた方がいいことや、海上保安庁の電話番号などを周りの人たちに教えていきたいです。」その内容を聞くと、海の安全に対する理解を深めることができていると感じました。

海難防止のための安全教育は、子どもたちの発達段階に合わせて行うことで、より効果が上がるのではないかと考えます。安全に対する正しい知識や行動は、子どもたちが大きくなっても、その命を守ることに繋がっていくでしょう。悲しい事故をなくすため、今後も日々の安全教育に力を入れていきます。DVDを提供して下さった小樽海上保安部の皆さん、本当にありがとうございました。

水路記念日パネル展「黎明期の海図」を見学して

海上保安友の会札幌支部理事
高橋 司

9月9日から14日まで、水路記念日（9月12日）に因んだ「黎明期の海図」パネル展が、小樽市総合博物館エントランスホールで行われました。このイベントは第一管区海上保安本部海洋情報部により企画開催されたもので、会場には江戸時代の航海用の図誌、明治初期の海図、小樽港の変遷等について紹介する貴重な資料が展示されていました。

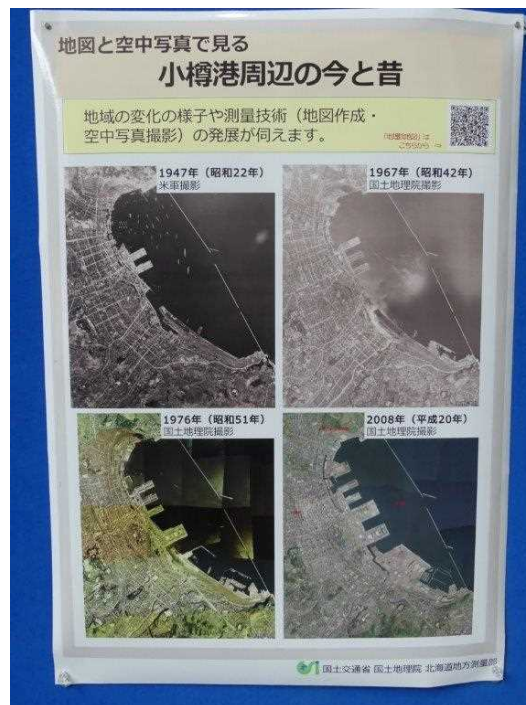


9月12日は水路記念日ですと言っても、海上保安庁海洋情報部の前身の海軍水路局が明治4年（1871年）に創立された日とズバリ答えられる方は少ないかと思います。

そういう自分も最近まで知りませんでした。詳しくは海洋情報部のホームページをご覧ください。

そもそも海図とは、船を安全に走らせる為に必要な、海の深さや海底の土質、船をつける岸壁の地形、海岸の地形、船の位置確認の目印になる灯台等を記した海の地図です。

我が国における近代的な海図の作成は、明治初期に初代海軍水路部長である柳 檣悦（やなぎならよし）により初めて行われ、明治から第二次大戦までは海軍が、その後は海上保安庁で海図を作成しています。



小樽港の変遷のパネルを見ながら感じたのは、測量技術の進歩による海図精度の向上です。測位衛星（GPS）やディファレンシャル GPS 局からのデータ、測量船のマルチビーム測深や、航空機による水路調査等、測量技術の進歩によって、現在の精密な海図が作成されていることが良くわかりました。航海の安全に必要な正確で最新の情報、港湾の測量、国際条約に基づく我が国の領海を決定する為の調査、海流・潮流、海底火山の噴火などの観測・測量等を日夜行っている、海洋情報部の職員の皆様、コロナ禍の最中、このようなイベントを開催して頂いた、第一管区海上保安本部の職員の皆様に感謝いたします。

小樽海上保安部からのお知らせ

小樽海上保安部では、11月1日「灯台記念日」において広く国民に航路標識業務への理解を深めていただくため、日和山灯台と石狩灯台でイベントを行います。

灯台記念日とは、わが国初の洋式灯台である観音埼灯台の起工日である明治元年11月1日にちなみ「灯台記念日」と定められています。

日和山灯台

一般公開 令和2年11月1日 11時から14時

ライトアップ 令和2年11月1日 17時～19時

石狩灯台

灯台の「おはなし」 令和2年11月1日 15時～19時

ライトアップ 令和2年11月1日 日没後～19時

♪♪原稿・写真募集中♪♪

**会員皆様の投稿記事又は写真などをお待ちしていま～す。
次の送り先に郵送又はFAXにて送付してください。**

送り先：海上保安友の会札幌支部事務局
〒047-0007 小樽市港町5-2 小樽海上保安部内
TEL0134-27-6118 FAX0134-23-9700